

篆刻家 河野晶苑の世界



晶苑の世界が思いがけない力によって顕わにされました。
愛媛大学教育学部東先生のお力によって、晶苑が黙々と打ち込んだ世界が今ようやく俯瞰できるようになりました。晶苑の作品は、東先生が籍を置かれる書写書道教育教室ですべて保存・管理されるようになりましたので、篆刻の世界の教育・研究に少しでもお役に立つことができれば、遺族としては望外の喜びであります。記念の個展開催や、図録の出版に注がれた東先生の並々ならぬ御尽力に、心から感謝をいたします。

晶苑は煎茶家として窗晁（そうちよう）の名を持ちます。書斎人としての文人茶を目指し、手作りの道具も楽しみました。窗晁は私にとって茶の師です。窗晁の教えの一部を継ぎ、美味しいお茶の淹れ方を追い求めて参りました。晶苑と窗晁は互いに道を究めながら、悠々たる世界に遊びを求めたのではないかと思います。文人としての誇りを持って、過酷な時代をひたむきに駆け抜けて行きました。遺されたものにも、豊かな心を残して。

（河野晶苑 妹）
飯田美年子
（美年子）



平成十九年十一月十五日―二十日

個展 「篆刻家 河野晶苑の世界」 開催

<http://www.shoen-tenkoku.com>

企画 愛媛大学教育学部

書写書道教育教室

協力 飯田美年子

会場 ヒロヤ画廊 松山市大街道二・三・九

<http://www.hiroya-gallery.co.jp>



晶苑愛用の文房具